

水道施設の更新・改良事業の概要

水道施設改良更新事業

災害に強い水道の構築をめざし、給水拠点と位置付ける柳沢低区浄水場に緊急遮断弁（大漏水が起きた際に自動的に作動し、配水池からの水道水の流出や二時災害を防ぐ装置）を整備したほか、地下水源の開発のため、調査ボーリングを行い目標水量の確保を行いました。

配水管整備事業

幹線管路の耐震化工事や道路改良工事にあわせて配水管の整備や移設を行いました。また、漏水防止のため、老朽配水管の更新を行い、配水管の耐震化及び有効率（※参照）の向上を図りました。

※有効率とは＝浄水場で造られた水が有効に使われた割合を示すもので漏水が増えると低くなります。

鉛製給水管更新事業

漏水事故頻度が高く、また滞留水の水質への影響が懸念される鉛製給水管を交換しました。これにより、未然に有効率の低下を防止し、高品質の水道水質が確保されます。

漏水対策事業

大沢、篠木、大釜地区を重点に漏水調査と漏水発見個所の修理工事を実施し、漏水量の低減が図られました。



純利益（黒字）はどうするの？

純利益（黒字）は、これまで設備投資するために国等から借りた借金（企業債）を返済するために使われます。赤字になると借金を返すことが困難になり、経営が圧迫されます。

損益勘定留保資金とはどのようなものですか？

損益勘定留保資金とは、水道事業の経費の中で固定資産の目減り分を毎年の費用として計上する減価償却費等の現金支出を伴わない経費です。

この経費に相当する水道料金は、施設の更新・改良の資金や借金の元金返済の資金として使われます。



産業祭りでの水道コーナーの様子



水抜き出前講座（岩手県立大学）